

露西亞及び伯林に存する異本によりて前號及び前々號の翻譯を補正し得べき重なるものは

第十八行の ...ultun は soltun にして soltun qilinči 即ち「左の行は」なり。

第二五行の初めの缺文は bolup ädgü の二語にして、「此の如き人身を得て善行を爲さず」なり。

第三十行の初めの缺けたるは tsui 即ち漢語の「罪」の音譯なり。

第三十一行の缺文は qutlar vaxsiklar iyin turqaru 即ち「善神が願に従て常に」なり、而して此處の qutlar は善神に對する尊稱にして神様の様に相當す。

第三十二行の缺文は yaši uzun bolur にして、「壽命長くなり」なり。

第三十三行の ...un は anča にして、「此の如き」なり。

第三五行の ...bitisär oqisar は oqisar oqitsar 即ち「讀まば、讀ましめば」の誤寫にして、かくて初めて前の「書かば、書かしめば」と照應するを得。

第四十行の ögz...lar 以下は ongz(in) yilbik yäklär xuzqun qopurq ada ulatı yavlaq irü bälgülüg xorqinčır ünlür quş-lar tükäl türlük と見ゆ、ulatı より前の部は今明らかに解する能はざれど其の後の部は「及び悪き姿、恐ろしき聲の鳥及びあらゆる悪相のもの」の義なり。

第四十二行の缺所以下は közünü kälip örlätir trk trk にして「姿を現はし來り、惑亂し、速やかに」なり。

第四十三行の缺所は aiin 「月」にて「年に月に」なり。

第四五行の ikitigä は ikintigä 「第二に」なり。

第四九行の ...ari は at'özläri 「其の身は」なり。

第五十行の缺文は ädrämi bu titir, kim qayu にして「善行の功德なり若し各人」なり。

第五十二行の kövänčnng は kövänčlig の誤なり。

第五十三行の örlätsär を「生ずる時」と譯せしは、此の原義よりして、更にすみて、「惑亂せば」と譯すべし。

第六十一行の yoquru を「積む」と譯せしは「捏る」の誤譯なれば訂正す。

第六十六行の baši 以下は baši kün ärkligi ai ärkligi yil äkligi üzüt yäk ärkligi süü bašči-lar ärkligi qasınčır xorxinčır ärkligär at-ları (bu) ärür と見ゆ、これによれば「日王、月王、風王、鬼魔王、軍帥王等強盛なる恐るべき諸王の名はこれなり」との意にして、次の日遊、月殺等の名の説明の爲に記述せる句なるが如し。

第九十一行の ang を「其の」と譯せしは「最」の誤りにて「最後」にの誤譯なれば訂正す。